

# 歴史とまちづくり活動の経緯

## 1. 設立の経緯

宮城県東松島市は、平成23年3月11日の東日本大震災により、住まいを失った地域は災害危険区域にして指定されたため、集団移転を余儀なくされ市内7地区に移転をしました。その一つが「あおい地区」です。災害公営住宅307戸、自立再建273戸約1600人が居住、あおい一丁目から三丁目までそれぞれの自治会が設立されました。

## 2. 組織の特色

「あおい地区会」は単なる各地区自治会の連合組織ではなく、より効果的・効率的な事業に特化して取り組む組織として平成28年4月に設立しました。自立に向け事務局体制を確立して住民主体の運営組織として活動し、様々な問題課題解決に向けて各地区自治会と連携を図りながら推し進めています。また、春夏秋冬を中心としたイベントを企画し、地区住民の絆及びコミュニティ形成の活動を行っています。

「あおい地区」は、65歳以上の高齢化率が約37%、その内独居率が約41%と高いですが、行政に頼らず住民は住民で見守るという観点から独自で見守り活動も行っています。